

## 第2内科学総論 【Cardiology & Nephrology】

担当責任者 教授（第2内科学） 片岡 雅晴

### ねらい

主要な循環器・腎疾患の病因、病態生理、それらの診断に必要な検査法を理解し、適切な診断を行い、さらに適切な治療法を選択できるようになるために、循環器・腎疾患の診断に必要な病歴・理学所見・検査および治療法を学習・理解する。

3年次では、循環器・腎疾患を正しく診断できるようになるために、心血管系および腎臓の解剖と生理を十分に理解し、診断に必要な病歴・身体所見・検査法の評価について正しく理解する。

### 学修目標

1. 主要な循環器・腎疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。(Ⅱ-5, Ⅳ-4)
2. 主要な循環器・腎疾患の症状・身体所見の特徴を説明できる。(Ⅱ-5, Ⅳ-2)
3. 基本的な診察法を述べることができる。(Ⅳ-2)
4. 主要な検査法の適応と、その所見の意義を列挙することができる。(Ⅱ-6)
5. 主要な循環器・腎疾患の治療の基本について説明できる。(Ⅱ-6)

### 事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について参考書等で予習する。
2. 講義直後(当日)に講義テキスト等を熟読し、内容を深く理解する。

### 成績評価方法・基準

1. 講義への2/3以上の出席で受験資格を得る。
2. 試験点数および理解度チェックの為の小テストの結果を考慮して総合的に判断する。

### ○教科書

矢崎義雄総編集「内科学」(朝倉書店)  
イヤートート2022 内科・外科編 メディックメディア

### ○参考書

Braunwald、「Heart Disease」(Saunders)  
Harrison's Principles of Internal Medicine (McGraw-Hill, Inc)  
ガイトン生理学、エルゼビア・ジャパン  
Comprehensive Clinical Nephrology, 6th Edition (Elsevier)  
病気がみえる vol.2 循環器 第4版 メディックメディア  
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第4版 メディックメディア

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.7.5	月	1・2	心血管系の解剖と生理	C	6		片岡 雅晴
7.12	〃	〃	循環器疾患の症状	〃	〃		片岡 雅晴
7.26	〃	〃	循環器疾患の身体的所見(1):心音	〃	〃		荒木 優
9.6	〃	〃	循環器疾患の身体的所見(2):心音以外	〃	〃		片岡 雅晴
9.13	〃	〃	胸部エックス線診断 小テスト	〃	〃		穴井 玲央
9.27	〃	〃	心電図診断(1):正常	〃	〃		荻ノ沢 泰司
10.11	〃	〃	心電図診断(2):伝導障害、LVH、RVH	〃	〃		荻ノ沢 泰司
10.13	水	〃	心電図診断(3):不整脈(1)	〃	〃		大江 学治
10.15	金	7・8	心電図診断(4):運動負荷、心筋梗塞、狭心症 小テスト	〃	〃		穴井 玲央
10.18	月	3・4	心疾患の超音波診断	〃	〃		尾辻 豊(学長)
10.22	金	7・8	腎臓の解剖と機能	C	8		宮本 哲
10.25	月	3・4	水・電解質・酸塩基平衡(I)	B	1	3	宮本 哲
10.27	水	〃	水・電解質・酸塩基平衡(II)	E	〃		宮本 哲
10.29	金	7・8	腎疾患の主要症状と身体所見	B	〃	3	長谷川 恵美
11.12	〃	〃	腎と高血圧	C	5,8	〃	中園 和利
11.17	水	5・6	臨床的腎機能評価 小テスト	E	2	1,7,9	久間 昭寛